

近鉄文化サロン・近畿文化会共催講座 ※歴史街道倶楽部協力  
〈連続講座 ユリカ〉のご案内

Kintetsu 近鉄文化サロン

2023年11月～2024年2月

# 考古学からみた古墳時代の争乱 〈全4回〉

講師：大阪府文化財センター 森本 徹

※セミナーのお申込みの受付は、9月1日(金)から開始します。WEBからのお申込みがお得です。

11/4  
(土)

## 10:30～12:00 第1回 「磐井の乱とヤマト王権」

古墳時代最大の内乱とされる磐井の乱(527年)は、文献史料にはヤマト王権に対する地方豪族の反乱とされ、継体大王をめぐるさまざまな事績のクライマックスとして描かれます。しかし近年の古墳時代研究の成果からは、記紀の記載とはやや異なる背景を導くことも可能です。筑紫君磐井は本当に反乱を起こしたのでしょうか。この講座では磐井の乱の実像を探るとともに、王権と地域の関係を古代国家形成過程に改めて位置づけてみたいと思います。

【受講料】 会員2,200円、一般2,750円 (WEBでのご入金の場合は500円割引、10月28日(土)までに店頭入金の場合は300円割引)

12/2  
(土)

## 10:30～12:00 第2回 「武蔵国造の乱とヤマト王権」

北部九州で磐井の乱が収束してほどなく、日本書紀には関東を舞台に武蔵国造の乱と呼ばれる地方豪族間の争いがあったことが記されています。この争いは単なる地域勢力間の抗争ではなく、背後にヤマト王権による広く関東全域を巻き込んだ政治戦略が深く関わっているようです。この講座では関東を中心とした古墳の研究成果から乱の実態を追及するとともに、争乱後の関東地域の状況を北部九州と対比しつつ考えてみたいと思います。

【受講料】 会員2,200円、一般2,750円 (WEBでのご入金の場合は500円割引、11月27日(月)までに店頭入金の場合は300円割引)

1/6  
(土)

## 10:30～12:00 第3回 「吉備の反乱と葛城氏の盛衰」

継体朝をさかのぼる雄略大王の時代には、吉備氏の反乱伝承がたびたび登場します。倭国の国家形成に深く関わり、5世紀には大王墓に匹敵する巨大前方後円墳を出現させた吉備地域はなぜ、王権に反乱を企てたとされるのでしょうか。この講座では吉備地域の古墳の動向に加え、葛城氏や紀氏といったヤマト王権内部の政治勢力の盛衰を併せ、反乱の背景を探ります。さらにヤマト王権による地域支配の本質について、経済政策を中心に考えてみたいと思います。

【受講料】 会員2,200円、一般2,750円 (WEBでのご入金の場合は500円割引、12月28日(木)までに店頭入金の場合は300円割引)

2/3  
(土)

## 10:30～12:00 第4回 「丁未の変-蘇我・物部戦争の実像」

6世紀に覇権を競った蘇我氏と物部氏は、仏教政策を発端に対立を激化させ、587年、物部守屋の討伐、物部氏の滅亡という結末に至ります。この争いは単なる宗教対立だけではなく、皇位の継承をはじめとする政治の主導権をめぐる対立があったとも考えられています。物部氏はなぜ滅ぼされたのでしょうか。この講座では古墳時代を通じた争乱の性格を踏まえ、古墳秩序や経済政策といった新たな視点から、争いの背景を探りたいと思います。

【受講料】 会員2,200円、一般2,750円 (WEBでのご入金の場合は500円割引、1月29日(月)までに店頭入金の場合は300円割引)

※各講座とも、当日の教室での受付は講座開始の30分前からです。

※価格は、消費税を含んだ税込価格を表示しています。

近畿文化会会員様・歴史街道倶楽部会員様は、  
会員カードご提示で会員価格にて承ります。

お申込みはこちらのQRコードから



WEBでご予約から入金までできるようになりました

お問い合わせは  
「近鉄文化サロン阿倍野」  
(06)6625-1771

〒545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋2-1-40 and4階  
【受付時間】10:00～19:00  
(日曜日10:00～17:00)

※休業日：9/30(土)、10/29(日)～10/31(火)、11/29(水)、  
11/30(木)、12/29(金)～1/4(木)は、受付業務を休ませて  
いただきます

【受講のお申込みは】

- 事前にご予約のうえ、実施日の5日前までにご入金手続きをお済ませください。
- 近鉄文化サロンホームページからご入金・ご入金いただけます。  
※WEBでお手続きの場合、入金金無料で会員登録ができ、1回につき会員価格からさらに500円割引でご受講いただけます。
- 各講座とも満員になり次第締め切らせていただきます。  
※ただし、一定の人数に満たない場合は、講座を中止させていただくこともございます。

